

一般質問

「市政 ここが聞きたい」



12月4日(水)

レポーター制度の導入を！

川副龍之介 (自民さが)

レポーター制度とは、市民が施設の不具合や不法投棄といった情報をスマートフォンなどで行政に提供し、迅速な対応を促す制度である。前回、本ホームページからの投稿に画像等を添付する機能の追加を検討するとの答弁がなされているが、その進捗状況は。

答弁 ホームページ構築業者と協議したところ、画像等の添付機能の追加は可能とのことであったため、令和元年の10月1日に行った一部リニューアルにあわせ、電子提言箱及び各課へのお問い合わせ入力フォームに画像等の添付機能を追加した。これまでになされた投稿では、野焼きの状況や照明が消えた自歩道照明灯の管理番号の写真など、より内容をわかりやすくする画像が添付されており、効果的に利用されていると考えられている。

◆その他◆外国人児童・生徒に対するきめ細やかな支援について



自然災害への対応を問う

久米 勝博 (自民市政会)

市内では8月末の大雨により、広範囲かつ長時間にわたって道路や家屋への浸水が発生した。①被害軽減のためには、さらなる河川や堤防の整備等が必要では②水稲は風水害等により大幅な収量減となり、今後の営農再開が懸念される。営農再建へ向けた救済策は。

答弁 ①河道掘削の実施が予定されているほか、無堤箇所等の築堤、堤防拡幅も行われている。また、堤防の浸透対策や堤防裏のり切りの補強なども随時行われている。さらに、今回の豪雨で部分的に越水が生じたことを踏まえ、対応の検討が進められている②佐賀市農地等小災害復旧事業費補助金について、災害発生後、生産組合長や自治会長等に対して説明を行うなど、災害の早期復旧に努めている。また農林水産省も、共済金に品質低下を考慮した特別措置を設け、早期に支給されることとなった。



佐賀駅周辺整備の現状は

山下 伸二 (国民民主)

佐賀駅周辺整備において、令和4年度以降、民間資本を活用した開発が予定されている旧西友駐車場では、サウンディング型市場調査が行われているが、この調査結果を、具体的にどのように開発につなげていくのか。

答弁 今回のサウンディング型市場調査では、例えば、具体的にどのような業種、業態の出店が想定されるのかなど、さまざまな企業の視点から多角的にご意見をいただいた。今後は、今回の対話で得た知見を総合的に分析しながら、この敷地にどういった施設を立地させることがまちづくりにとって効果的なのか、立地誘導方針の検討を行うとともに、議会にも報告しながら、事業者の公募要領の検討を進めたい。

◆その他◆佐賀インターナショナルバルーンフェスタと中心市街地の活性化について



暫定駐車場

※1 サウンディング型市場調査…市有地などの有効活用に向けた検討にあたり、活用方法について民間事業者から広く意見、提案を求め、「対話」を通じて市場性等を把握する調査。

12月4日(水)

オスプレイ配備、

市とも協議が必要



山下 明子（市民共同）

①オスプレイ配備について賛否が拮抗した佐賀新聞の県民世論調査の結果への所感は②知事は自衛隊共用を否定した公害防止協定の見直しを漁協に求めているが仮に合意してもそれがゴールではなく全体の協定を結んだ市との協議がさらに必要との認識でよいか。

答弁 ①公害防止協定覚書付属資料には自衛隊との共用はしないとす
る約束事がある。その約束事が何にも増して優先されるべきものだと理解しているため、アンケート結果に左右されるものではないと考えている。その約束事の当事者である県と漁協がどうするのかを見届けたいという考えに変わりはない②仮定の話は余りしたくないが、順序としてはそのようになる。

◆その他◆防災・減災対策／生活保護受給申請時の自動車保有原則禁止の緩和を／地域経済振興策



オスプレイ

12月5日(木)

自律を育む

子どもの教育を



重田 音彦（自民市政会）

AIが人間能力を追い越すと言われる近い未来に備え、今後は「思考力、判断力、表現力」や主体性を持つ人材が必要になると思われる。佐賀市でも自律できる子どもを育むためにも幼児及び義務教育に自然教育を積極的に取り組むべきだと思つが。

答弁 思考力、判断力、表現力、主体性などは、動きながら体を通して学ぶことが大事。体験的な活動を教科の特性を考えながらどう組み立てていくかは、今回の学習指導要領でも述べられており、各学校の教育課程の中に反映させたい。各学校とは学習指導要領の目標、内容をどう展開していくかという視点から話していきたい。

◆その他◆道路の管理について／災害復旧事業について／農業振興について／SDGsの取り組みについて



バルーン会場の

さらなる活用を！



御厨 洋行（市政未来）

①オートキャンプエリアに関して今年の改善点や工夫した点は。また、今後どのような運営をしていくのか②ホンダレースマシンドームストレーションで整備した舗装箇所を含め河川敷をモータースポーツイベント会場として今後活用できないか。

答弁 ①休日は午前3時から誘導を開始し、キャンピングカーは一般ではなく、オートキャンプエリアへ誘導した。場内での注意・禁止事項の看板を設置し、マナー順守を呼びかけた結果、トラブルや迷惑行為は見受けられず、一定の効果があつた。今後、利用者の意見を踏まえ、改善に取り組みたい②従来の管理道路を含め、新たに舗装整備した転回場は、各種イベントへの活用が考えられるため、今後、活用のあり方を検討したい。

◆その他◆聴覚障がい者支援について／里親制度について



佐藤琢磨選手とDW12

防犯カメラの

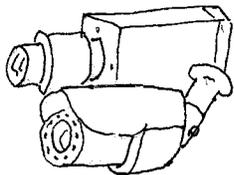
設置を急げ!!



福井 章司（自民政新会）

①県の防犯カメラ設置補助の内容は②地区防犯協会への負担金は③地区防犯協会の防犯カメラ設置助成は④それによるカメラ設置の実績は⑤学校への防犯カメラについて、モデル校に設置すべきでは。

答弁 ①市や町が新たに設置する場合、市や町及び地区防犯協会が自治会等へ補助を行う場合で、カメラ本体及び設置工事等が対象。設置後は申請者が管理運営。期間は今年度から令和4年度まで②596万円③商業施設や事業所、各校区防犯協会長が必要と認めた箇所に設置する場
合が対象で今年度予算は50万円④平成29年度なし。平成30年度5箇所。今年度は現時点で4箇所⑤モデル校に設置しても犯罪の抑止効果の検証は難しい。不審者情報や学校の実情などを考慮し、学校と相談し検討したい。



防犯カメラ

紙おむつは持ち帰り？園で処分？

富永 明美 (社会市民クラブ)



いわゆる紙おむつの持ち帰り問題は、保護者の間からも「なぜ持ち帰らなければならぬのか」との声が多く聞かれる。また、全国的に持ち帰りを見直す自治体も増えており、衛生面や保育士の負担軽減のためにも園側での処分が望ましいと思うが見解を。

地域コミュニティの醸成に向けて

山口 弘展 (自民市政会)



近年、頻発する豪雨災害等で、互助の必要性が高まっているが、自治会加入世帯が減少している。①その要因分析は②加入促進に向けた方策は。また、老人クラブへの加入も少なく運営も厳しいと聞く。補助金の分配方法や金額についても見直すべきでは。

変形労働時間制の導入は問題あり

中山 重俊 (日本共産党)



学校における一年単位の変形労働時間制の導入法が国会で可決されたが、教員は「勤務がもつと長くなる」との声をあげている。①教育長の認識は②時間外勤務を削減する取り組み及び効果は③抜本的な時間外勤務の削減には定数改善が必要なのではないか。

排水ポンプの増設は

中野 茂康 (自民市政会)



令和元年8月の大雨により被害面積は約1860畝と大豆の被害は甚大なものであった。水稲は冠水しても生命力が強く回復するが、大豆は冠水すれば枯死する。米の消費の落ち込みで、今後生産調整も強化される。大豆の生産安定のため排水ポンプの増設を願う。

排水ポンプの増設は

答弁 紙おむつの処分方法は、現状のガイドラインにも示されており、各施設が判断し対応している。保育施設での処分は、保育士の負担軽減につながる取り組みであると認識をしているが、紙おむつ持ち帰りは、袋で密閉し適切に処理をすれば不衛生とまでいえないとの厚生労働省の見解もある。この件は、子育て世代の関心も高く、他都市の状況も変化しているため、今後は、各施設の対応を尊重しながら、他都市の状況も注視していきたい。



答弁 ①自治会加入率を計算する際の分母となる世帯数が、核家族化やアパート入居の単身世帯の増加等により増加しており、この増加分の自治会加入が進まないことが自治会加入率の減少につながっている②自治会の加入促進としては、転入手続の際に加入促進のチラシを配付して自治会活動への理解を促している。また、会員数が100名を超える老人クラブもあることから、会員数の規模に応じ配分方法を見直す必要があると考えている。



答弁 ①今回の法改正は応急措置であり、県が示す方針に基づき運用を検討する。教職員の健康及び福祉の確保を図り、長時間勤務が助長されないよう配慮したい②各学校の業務改善活動やICT機器配置、分掌事務の平準化やチーム学校の体制づくり等で、教職員の意識を高め、時間外勤務が減少してきた③個々の取り組みでは抜本的な解決に至らないため、教職員の定数拡大(定数改善)は不可欠と考える。



答弁 近年、ゲリラ豪雨が頻繁に発生し、河川や水路の水位が急激に増加し、排水ポンプ場の排水能力を超える状況が起きている。農地・農業用施設を災害から守り、農業経営の安定化と近代化を図ることを目的とした国営事業、県営事業が展開されているが、大雨による被害の軽減を図るため、今後も国や県に対し、本市の現状を伝え、排水施設の増設等も含め、排水対策の強化を要望していきたいと考えている。



◆その他◆8月豪雨における実態と復旧対策／重度心身障がい者への医療費の現物給付

◆その他◆多文化共生社会の構築に向けて

◆その他◆農業振興について／佐賀インターナショナルバルーンフェスタについて

12月6日（金）

バイオマス事業の

今後の方向性は

千綿 正明（政研委）



秀島市長は前回の選挙においてバイオマス事業を重点課題に挙げて当選された。本事業への市費の投入分は二酸化炭素の売買取入で回収できるとの説明がなされているが、市長の任期があと2年を切った今、これまでをどう総括するのか。また、今後の方向性は。

答弁 マニフェストで二酸化炭素の有効活用、そして清掃工場のCO₂の販売等を打ち出したが、現状は計画値からかなり離れた状況にある。しかしながら、経済的な効果等を含め、現段階での中間総括をすれば、それなりの評価はできるのではないかと考えている。現在、二酸化炭素を農業に活用するという段階だが、余裕のある分については、今後、工業用での活用を検討し、効率的な運転によるコスト削減を図り、経費を販売収入で賄えるよう努力したい。



二酸化炭素分離回収設備

12月6日（月）

実態を検証した
ハザードマップを！

白倉 和子（さが未来）



8月の豪雨は1時間雨量が110ミリの観測史上1位を更新。①配布した消石灰の使用上の問題を踏まえ、消毒支援策の再考を②嘉瀬川ダムの放流量は適切だったのか③庁内各課の連携で、道路の冠水や浸水区域を正確に把握し、内水ハザードマップの見直しを！

答弁 ①国や県などとも相談し配布剤のあり方を研究していきたい②嘉瀬川ダム管理支所によると周辺の雨の状況やダム湖への水の流入量などの各種データを収集し、操作規則、細則に基づきダムの操作を行っているとのことである③現在の内水ハザードマップの対象降雨を上回る降水量を観測し浸水が広範囲に及んだことや排水対策による施設整備が進んだことから、今回の大雨をしっかり検証し、見直しを検討していきたい。

◆その他◆放課後児童クラブの運営と利用料の見直し（値上げ）について



冠水常習の地区

森林浴セラピー
充実のために！

池田 正弘（公明党）



北山キャンプ場周辺にて森林浴体験ツアーが開催されており、参加者から高評価を得ている。しかし、遊歩道には案内板やコースを記した地図、標識、ベンチ、トイレなどの設備が不十分で改善が必要となっている。今後、どのように取り組んでいくのか。

答弁 北山キャンプ場周辺は県が管理する施設のため、コース周辺の整備について、老朽化した設備の整備を含めて県に要望しているが、緊急性が高いところから優先的に行われており、なかなか進んでいない。市での整備については、市が開催する森林浴体験ツアー以外の不特定多数の方が使用される設備でもあるため、維持管理の点からも難しい。コースの整備については、森林浴ガイドの会と連携を図りながら、今後も引き続き県に要望していきたい。

◆その他◆子どもの読書活動推進計画について



金立町大門地区の
土砂災害対応は

西岡 真一（自民党）



①令和元年の8月豪雨により、金立町大門地区では土石流が起きたが、復旧や再発防止事業はどのように計画しているのか②金立川は場所や案件により、所管する行政が目まぐるしく変わるが、県と市、あるいは市内部でどのように連携をとっていくのか。

答弁 ①県では崩壊した山腹の復旧と、その下流部の治山ダムの新設及び既設ダムのかさ上げを計画し、溪流部に堆積した土砂や流木も可能な範囲で撤去すること。被災した家屋の上流部には砂防ダムの建設を計画し、現在、詳細設計に着手している。また、緊急警報システムや土石流監視カメラを設置済み②市民からの相談に的確に答えられるよう庁内部署や県を初めとする関係機関等とさらなる連携強化や情報共有の徹底を図っていききたい。

◆その他◆人口減少対策について



R1.8.28 大門上流被災